

報道関係者 各位

福井県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

福井県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

報道機関 各位

抗インフルエンザ薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

本日、新型インフルエンザの感染が確認された方から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。
なお、確認された方は既に快復し、周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されておりません。

なお、報道に際しては、感染された方のプライバシーに十分配慮していただくようお願いいたします。

記

1 検査結果概要

- 平成22年1月15日（金）に、県衛生環境研究センターにおいて遺伝子解析を実施し、オセルタミビル耐性マーカーH275Y（遺伝子変異）が確認された。
- 平成22年1月22日（金）に、国立感染症研究所で実施した薬剤感受性試験の結果、感染された方から分離培養したウイルスは、
①オセルタミビル耐性、②ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性
があることが確認された。

※参考 耐性：薬剤に対し抵抗力を持ち、薬剤が効きにくくなること
感受性：薬剤が有効に作用すること。

2 感染者の経過等

感染者 丹南保健所管内在住の女児

基礎疾患等 喘息

【経緯】

平成21年11月27日（金） 発症
28日（土） 医療機関を受診、タミフル投与（12月2日まで）
簡易検査結果 A型「陽性」
12月 3日（木） 気管支炎、喘息等の症状により入院
4日（金） 医療機関から丹南保健所に報告
県衛生環境研究センターにおいて遺伝子（PCR）
検査を実施 新型「陽性」
8日（火） 症状が快復し退院

【家族等の状況】

感染された方の家族等に発症者はなく、周囲への感染拡大は認められなかった。

3 その他

- 厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性に直接影響を及ぼすものではないとされております。
- 本県では、県衛生環境研究センターにおいて、これまでに90検体の薬剤耐性変異の遺伝子解析を実施した結果、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは初めてになります。

なお、全国では1月21日までに35例確認されております。